

報 道 発 表

【令和7年9月16日】

COCORONOMICHI



尾道市立美術館
(担当) 梅林、溝渕
電話 [直通] (0848)23-2281
[代表]
[内線]
FAX (0848)20-1682
E-mail bijutsu@city.onomichi.hiroshima.jp
〒722-0032 尾道市西土堂町 17-19

件名	「ナイン・ヴィジョンズ：日本から世界へ 跳躍する 9 人の建築家」展について
----	--

尾道市立美術館では、10月4日（土）から11月30日（日）までの会期で、建築界で最も権威ある建築界のノーベル賞と称される「プリツカー建築賞」の日本人受賞者8組9名を紹介する展覧会を開催いたしますので、報道方よりしくお願いします。

展覧会名：「ナイン・ヴィジョンズ：日本から世界へ 跳躍する 9 人の建築家」

Nine Visions: Japanese Architects from Japan to the World

主 催：ナイン・ヴィジョンズ展実行委員会、中国新聞備後本社

※実行委員会の構成団体は、尾道市立美術館と（一財）神原・ツネイシ文化財団
の2団体

会 場：尾道市立美術館（〒722-0032 広島県尾道市西土堂町 17-19 千光寺公園内）

会 期：令和 7 年 10 月 4 日（土）－ 11 月 30 日（日）

休 館 日：月曜日[ただし、10月13日、11月3日・24日（月・祝）は開館、翌火曜日休館]

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

観 覧 料：一般1,000円、学生／800円（尾道市立美術館窓口のみ販売）

※ひろしま国際建築祭 2025 鑑賞パスポートをお持ちの方は購入不要

※高校生以下および障害者手帳（ミライロ ID 可）をお持ちの方は無料

なお、本展は「ひろしま国際建築祭 2025」
のメイン・プログラムとして開催されます。



ひろしま国際建築祭 2025
公式ホームページ

<https://hiroshima-architecture-exhibition.jp/>

【添付資料】

（有）

無

丹下 健三
槇 文彦
安藤 忠雄
妹島 和世
西沢 立衛
伊東 豊雄
坂 茂
磯崎 新
山本 理顕

9

Kenzo Tange
Fumihiko Maki
Tadao Ando
Kazuyo Sejima
Ryue Nishizawa
Toyo Ito
Shigeru Ban
Arata Isozaki
Riken Yamamoto

NINE
VISIONS



ひろしま国際建築祭 2025
Hiroshima Architecture
Exhibition 2025

展覧会HP



ナイン・ヴィジョンズ | 日本から世界へ 跳躍する9人の建築家
Nine Visions: Japanese Architects from Japan to the World



2025 10.4 Sat → 11.30 Sun 尾道市立美術館
Onomichi City Museum of Art

休館日 | 月曜日(祝日の場合は翌日) 開館時間 | 午前9時～午後5時(10月18日(土)は午後8時まで。入館は閉館30分前まで)
観覧料 | 一般1,000円、学生800円 ※ひろしま国際建築祭2025鑑賞パスポートをお持ちの方は購入不要 ※尾道市立美術館窓口のみ販売 ※高校生以下および障害者手帳(マイロID可)をお持ちの方は無料
主催 | ナイン・ヴィジョンズ展実行委員会、中国新聞備後本社 会場 | 尾道市立美術館 〒722-0032 広島県尾道市西土堂町17-19(千光寺公園内) Tel.0848-23-2281
Photo Credits | 丹下健三 撮影・村井修、槇文彦 ©Peter Hyatt、安藤忠雄 ©関野敏次、妹島和世・西沢立衛 [SANAA] ©Aiko Suzuki、伊東豊雄 ©中村雄、坂茂 画像提供:坂茂建築設計、磯崎新 画像提供:Arata Isozaki & Associates、山本理顕 ©Tom Welsh for The Hyatt Foundation Pritzker Architecture Prize

ナイン・ヴィジョンズ | 日本から世界へ 跳躍する9人の建築家 Nine Visions: Japanese Architects from Japan to the World

建築界のノーベル賞「プリツカー建築賞」 受賞の日本人建築家の魅力に迫る。

明治以降、西欧に学ぶことから始めた日本の建築・建築家はいま、世界的に注目されています。とくに戦後は数多くの日本人建築家が世界で活躍するようになり、日本古来の伝統や技術、思想や自然観を昇華させた挑戦的で実験的な建築が、国際的に高い評価を得ています。なかでも世界的に権威のある「建築界のノーベル賞」と称される「プリツカー建築賞」*の受賞者数は8組（9名）と、アメリカと並び世界最多を誇っています。

〈ひろしま国際建築祭〉は、古来より海外から人や文化を招き入れ、海を通じ文化交流を行ってきたここ瀬戸内を、日本の建築文化を発信する場にしたいという想いから構想されました。その初開催を記念する展覧会として、プリツカー建築賞受賞日本人建築家9名が一堂に会した展覧会「ナイン・ヴィジョンズ | 日本から世界へ 跳躍する9人の建築家」を開催します。国際的に活躍し、強い発信力を発揮している9名の建築家のヴィジョンを解き明かし、未来へとつなぐ建築の力とその可能性を探索します。

*1979年、アメリカのハイアットホテルアンドリゾーツ、オーナーのジェイ・プリツカー（1922-1999）と妻のシンディ（1923-2025）によって設立された世界的に権威のある建築賞。優れた建築により、人類と構築環境に大きな貢献を成し遂げた存命の建築家1名（または1組）に対し毎年授与される本賞は、ヨーロッパ、中南米、オセアニア、アジアなど、各国から幅広く選出されています。日本人受賞者は丹下健三（1987年）、横文彦（1993年）、安藤忠雄（1995年）、妹島和世・西沢立衛 [SANAA]（2010年）、伊東豊雄（2013年）、坂茂（2014年）、磯崎新（2019年）、山本理顕（2024年）の8組、9名。

関連プログラム

ギャラリートーク

一般の方を対象にした鑑賞会です。
キュレーター解説で展覧会を巡ります。

日時：10月25日（土）、11月15日（土）

両日とも午後2時～午後2時45分

※参加費無料。事前申込み不要。鑑賞パスポートまたは単館チケットが必要です。

こどもと大人の鑑賞会

こども（中学生以下）を対象にした鑑賞会です。
鑑賞資料とともに作品を鑑賞していただきます。

日時：10月19日（日）、11月16日（日）

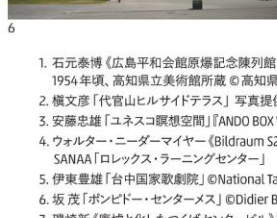
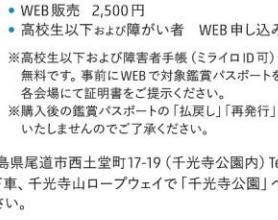
両日とも午後2時～午後3時

※参加費無料。事前申込み不要。付添いの方1名は無料で入館。

尾道市立美術館 Onomichi City Museum of Art 〒722-0032 広島県尾道市西土堂町17-19（千光寺公園内）Tel.0848-23-2281

アクセス | JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス（①番のりば）で「長江口」下車、千光寺山ロープウェイで「千光寺公園」へ。

なお、美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないのでご注意ください。



1. 石元泰博「広島平和会館原爆記念陳列館（丹下健三）」
1954年頃、高知県立美術館所蔵 © 高知県、石元泰博フォトセンター
2. 横文彦「代官山ヒルサイドテラス」写真提供：ASPI & Maki and Associates
3. 安藤忠雄「ユネスコ瞑想空間」『ANDO BOX VI』より1995/2001年 写真提供：amana inc.
4. ウォルター・ニードラー・マイヤー「Bildraum S240」2010年、東京都現代美術館所蔵
SANAA「ロレックス・ラーニングセンター」
5. 伊東豊雄「台中国家歌劇院」© National Taichung Theater
6. 坂茂「ボンビドー・センターメス」© Didier Boy de la Tour
7. 磯崎新「廃墟化したつくばセンタービル」1985年 © Estate of Arata Isozaki
8. 山本理顕「バンギョ・ハウジング」© Sun Namgoong

観覧料情報

尾道市立美術館 単館チケット

（尾道市立美術館窓口のみ販売）

・一般 1,000円

・学生 800円

ひろしま国際建築祭 2025 鑑賞パスポート

（福山・尾道共通3日間有効パスポート）

・会場販売 3,000円

・WEB販売 2,500円

・高校生以下および障がい者 WEB申し込みで無料

※高校生以下および障がい者（ミライID可）をお持ちの方の鑑賞は無料です。事前にWEBで対象鑑賞パスポートをお申し込みの上、各会場にて証明書をご提示ください。

※購入後の鑑賞パスポートの「払戻し」「再発行」はいたしませんのでご了承ください。

Web購入は
こちらから



ひろしま国際建築祭 2025
Hiroshima Architecture
Exhibition 2025

〈ひろしま国際建築祭〉は3年に1度開催する建築文化の祭典です。初回の今年は、広島県の福山市・尾道市にある7つの会場で、8つの展示を行います。「ナイン・ヴィジョンズ | 日本から世界へ 跳躍する9人の建築家」展は『ひろしま国際建築祭 2025』のプログラムのひとつとして行われます。

開催地 | 広島県福山市、尾道市（全7会場）+ 瀬戸内エリアのサテライト会場（福山＝神勝寺 禅と庭のミュージアム、ふくやま美術館（ギャラリー）、尾道＝尾道市立美術館、まちなか文化交流館「Bank」、LOVE HOUSE ONOMICHI、ONOMICHI U2、LOG）
後援 | 文化庁、広島県、福山市、尾道市、一般社団法人せとうち観光推進機構、一般社団法人広島県観光連盟（HIT）、広島商工会議所、福山商工会議所、尾道商工会議所、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本建築協会、一般社団法人日本建築設計学会、中国新聞社 建築祭HP — <https://hiroshima-architecture-exhibition.jp/>

